

学校だより

志おん



NO. 380

令和8年3月19日

大田市立志学小学校発行

TEL83-2025

学校HPQRコード



学校教育目標 学ぶ、助け合う、やいぬく子どもの育成

令和7年度 卒業証書授与式

(ホームページで紹介していますので、写真などぜひそちらをご覧ください👉👉👉)

3月17日(火)、今年度の卒業式を行いました。今年は5名の卒業生がおり、式辞の中では一人ずつの印象的だった活躍の場面を、在校生贈る言葉(送辞)ではそれぞれに感謝の言葉を、そして卒業生旅立ちの言葉(答辞)では、5名が自分の言葉で小学校生活の思い出や中学校生活への決意を述べました。来賓を代表して、本校PTA会長からはなむけの言葉をいただき、卒業生の足跡と期待を伝えていただきました。

校長式辞(下左)、在校生送辞(下右)、卒業生答辞(右ページ)を掲載します(いずれも一部を抜粋)。

Kさんは言葉の使い方にもセンスを感じ、また相手の気持ちを考えながら話すことができました。みんなをつなぐ架け橋のような役割で生活できました。

私がよく覚えているのは、昨年秋の文化祭での学習発表です。資料を上手に、また効果的に利用して、自分の考えもうまく盛り込みながら、誰にもわかる言葉を使って発表しました。

Rさんは委員長として、細かなところまで気遣いを忘れず、休んだ人のカバーをしたり、みんなに声を掛けたりして、誰もが気持ちよく生活できるよう配慮することができました。また、自分に厳しい一面をもっていることもRさんの持ち味です。特に勉強に関しては、何日も前から計画的に取り組みを続け、課題を終わらせたり、テストで合格したりを続けました。

Kさんはいつでもマイペースな、優しいお兄さんであり続けました。今年度のクラブの時間はみんなで卓球に挑戦しました。優しく、どんな場面でも安定しているKさんの、そんな当たり前の日常を見た私は胸が温かくなりました。

そうした一方で、表現豊かな一面をもっていて、Kさんの授業中のつぶやきでみんなが感心し、また反応して、それがきっかけで活発な話し合いになることもたびたびありました。

Zさんはチャレンジ精神いっぱい、行動力抜群で、いつでも先頭になって発言したり、行動したりすることができます。驚いたのは今年度の連合運動会での、全体の感想発表役を買って出たことでした。それ以降、校内でもリーダーシップを発揮する場面が増え、積極的にアイデアを出したり、人前で話したりすることができました。今年の志学小学校を動かす一人であったと振り返っています。

Kさんの心の中は、周りの人のうれしいことを増やすこと、悲しいことを減らすことばかり考えています。そんな、優しいことや、人のことを第一に考えることは、これからの時代を生きていくうえでとても大切な才能です。Kさんは青組の色長として、練習でも、本番でも、みんなの前で体を震わせるほど力いっぱい声を出していて、その姿は、私の頭の中ではっきりと思い出されるほど残っています。

Kさん。宿泊体験学習でスポーツ雪合戦をしたとき、作戦を立てたり大きな声で指示をしたりしてくださいました。その声で試合が盛り上がりとても楽しかったです。笑顔にこにご委員会では、全校のみんなに提案することを、タブレットを使ってまとめておられました。委員会から伝えたいことがよく伝わるように、写真を使ったり言葉を選んだりなど工夫をしておられて、とてもわかりやすかったです。私が業間マラソンに遅れて一人で走っているとき、Kさんが来て一緒に走ってくださいました。私も、Kさんみたいに、困ったり寂しい気持ちになったりしている人に寄り添える人になりたいです。

Rさん。運動が得意で、縄跳びは、どんな技もきれいに軽々と跳んでおられました。二重跳びをリズムよく何回も跳んでおられた姿は、わたしのあこがれです。給食当番のときは、いつもときばきとじゅんびをしておられました。むずかしいおしるのもりつけを、いつもじょうずにしておられて、かっこよかったです。ぼくもそうなりたいと思いました。元気もりも委員会では、みんなが意見を言いやすいように積極的に発言をしながら話し合いを進めてくださいました。仕事でわからないことがあったら、すぐに「分かる?」と優しく声をかけてくださったので、うれしかったです。

Kさん。「じごくのそうべえ」の読み聞かせをしてくださったとき、Kさんはまるでそうべえが話しているみたいに読んでくださいました。お話のようすが目にうかんできて、とても楽しかったです。元気もりも委員会で、説明の仕方が分からなくて困っていたら、Kさんが「一緒に考えよう」と言ってくださいました。ほっとして頑張って考えようという気持ちになりました。音楽会のリコーダー練習のとき、「どこまでできる?」「ゆっくり合わせてみよう」と言いながら練習を進めてくださいました。歌の練習のときは、やわらかく、きれいな声で歌っておられ、歌声のお手本のようだな、と思いました。

Zさん。運動会では、応援リーダーとして、いつも大きな声で赤組を盛り上げてくださいました。Zさんの声を聞いて、思い切り大きな声でおうえんをすることができました。休みじかんには、ドッジボールやおにごっこをして、いっしょにあそんでくださいました。ころんだら、すぐにかっつけて、こえをかけてくださったので、あんしんして、たのしくあそぶことができました。笑顔にこにご委員会では、いつもそっ先して意見を出したり、仕事をしたりしておられました。学校がもっとよくなるように考えておられるのが伝わってきて、わたしもこんな頼りになる6年生になりたいなと思いました。

Kさん。体操練習の時、むずかしい技にちょうせんして、きれいに演技できるように練習を続けておられました。体操大会でかっよく技をきめておられて、すてきなな思いました。宿泊体験学習では、「時間だよ」と声をかけくださったので、遅れずに活動をすることができました。カレー作りのときは、私が洗い物をしていたら「手伝おうか」と言って手伝ってください、とてもうれしかったです。運動会では、児童代表として堂々とあいさつをされました。Kさんが、みんなで協力して「がんばりたい」と話しておられるのを聞いて、わたしも力いっぱいがんばろうと思いました。

工夫して活動 力を合わせ 何でもチャレンジ 仲良く笑顔いっぱい 志学の子

▶六年間を振り返ってみたときに、一番心に残ったことは宿泊体験学習です。一年生のときは、分からないことばかりでした。だから、登山は疲れないだろうと思っていました。でも、当時の私の身長くらいある壁のような上り坂が出てきました。やっとの思いで登ると、足は筋肉痛のように痛くて、体操服は泥だらけでした。私はもう家に帰りたと思っていました。そのとき、六年生が「あともうちょっとだからがんばろう！」と背中を押して励ましてくれました。私はその言葉で、よし、がんばろう！自分も六年生になったら下級生を励ましてあげようと思いました。そして今年小学校生活最後の宿泊体験学習でした。最高学年として下級生を助けたいと思っていました。スポーツ雪合戦のときにそのチャンスはきました。攻められて負けそうになっているときに、私は自分から「いけるよ！」と大きい声で声をかけました。助け合ったこと、大きな声で声をかけたことで勝つことができました。私はこの経験から助け合うことの大切さを学びました。中学校では行事や勉強のときに仲間と助け合っていきたいです。

▶私が、一番心に残っていることは、運動会です。小学校一年生のときは、初めての運動会でとても不安でした。でも、六年生が優しく教えてくれたので安心できたことを覚えています。そのとき、私は六年生になったら自分も優しく教えてあげたいと思いました。一年生のときの運動会は、恥ずかしい気持ちのほうが大きくて、勝つために全力で取り組むことができず、悔しかったです。そして、今年最後の運動会。今までの経験を生かして大きな声を出すことをがんばりました。下級生が歌やダンスを覚えやすいように、どう教えたらいいのかを考えました。そして、ゆっくり体を大きく動かして教えることができました。動画を撮り、話し合いながらもっとよくすることもできました。みんなで大きな声を出し、大きく体を動かし、そろえて応援することができうれしかったです。私は、運動会をとおして「全力で取り組むと楽しい」ということが分かりました。中学校でも任された役割に全力で取り組み、中学校生活を楽しみたいと思います。

▶ぼくは宿泊体験学習が心に残っています。仲間と一緒にやればできるという経験をしたからです。一年生のときにはできないことがたくさんありました。登山のとき、足がつかれてしんどいときに、六年生と一緒に話しながら登りました。「あともうちょっとだよ、がんばって。」と声をかけてもらったおかげで登ることができました。3年生のときには、初めての宿泊で不安でした。そのときも六年生がお風呂の場所などを教えてくれて不安がなくなりました。そして、六年生。次はぼくが教えてあげる番だと思っていました。野外炊飯活動で、カレーを煮込むとき、けむりが目に入って痛いし疲れるから順番で協力して煮込みました。みんなで心をこめて作ったから、いつものカレーより何倍もおいしく感じました。

▶ぼくは、この経験から協力して活動することの大切さ、優しい気持ちの温かさを学びました。中学校でも忘れずに生活していきたいです。

▶小学校最後の年だから、何でもチャレンジしよう！と決意し、6年生をスタートしました。ぼくがチャレンジしたことは二つあります。一つ目は、連合運動会で感想発表をしたことです。大田市の全部の小学校が集まっている中での発表だったので不安になりました。しかし、大きな声ではきはきと言えて大きな達成感を感じました。

二つ目は、連合音楽会で六年生のソロパートを歌ったことです。帰りの会や、文化祭練習の間など、時間があればとにかく歌いました。練習したおかげで、本番は楽しく歌うことができました。

二つの大きなチャレンジをとおして、できなかったことができるようになることは楽しく、うれしいことだと気づきました。そしてチャレンジすることで、好きなことや得意なことが見つかることも知りました。中学生になってもチャレンジすることを目標に活動し、好きなこと、得意なことをたくさん見つけたいです。

▶私が一番心に残っていることは運動会です。今年の運動会は、小学校生活最後ということもあり、自分から進んで取り組みました。私は、これまでの六年生の姿を見てあこがれていたのが、児童代表あいさつに立候補しました。代表だと決まった日から、学校や家でもたくさん練習し、間違えずに言えるようになりました。しかし、当日になると緊張して、心の中で何度も言葉を繰り返しました。本番は堂々とあいさつをすることができ、心地よい達成感を感じました。青組の色長にも勇気を出して挑戦しました。六年生で応援を考えました。自分たちがまず大きな声を出すこと、大きく動くことを心がけました。下級生に教えたり、先生方からアドバイスをもらったりして、完成させることができました。全力で取り組んだ応援合戦は一番の思い出で、色長をやったよかったと思います。私は人前に出ることは得意ではありませんでした。しかし、運動会で達成感を味わい、意欲的に活動すると楽しいと感じたことで、人前に入る勇気がわきました。中学校でも今まで以上にたくさんのことに積極的に取り組みたいと思います。

学校運営協議会を開催しました

3回目となる学校運営協議会を2月26日に開催しました。今回は学校評価について、分析結果等をお伝えしました。また結果を受けて、今後の改善計画について説明後、評価やご意見をいただきました。あいさつや家庭学習の充実などについて、意見交換がなされました。今年度の学校評価と合わせ、裏面に掲載しております。委員の皆さま、今年1年ご支援いただき、ありがとうございました。

今後の予定

日	曜	行事
24	火	修了式 離任式
25	水	学年末始休業（～4/7）
4/8	水	着任式 始業式
9	木	入学式
25	土	授業公開日 PTA 総会

6年生を送る会を開催しました

6年生に感謝を届け、また一緒に思い出を作ろうと目標を掲げ、1年生から4年生までが一丸となって企画、運営に取り組みました。楽しいゲームや各学年の出し物で6年生を楽しませました。短い時間でしたが、心が温かくなるひと時でした。6年生からはサプライズで一人一人にしおりのプレゼントがあり、下級生たちもとてもうれしそうでした。

